

〔法学新報〕第十九卷一（二一六）号

明治四十二年一月一日

○中央大学経済会 去る十二月十二日中央大学経済会は同校倶楽部に於て開催せられたり此日降雨甚しかりしにも拘はらず来り会する者四千有余名定刻に至り一同著席するや経済本科三年生吉田氏先づ開会の辞を述べて桑田博士は今日国会議員中完全なる財政上の知識を有する者甚た少く唯目前の利害に汲汲として国家永遠の策に至ては茫乎として為す所を知らず諸士の奮励を望む旨説く所あり福田博士は之に続き縦横の快弁を以て教師と学生との間に温情を欠くは教育上慨嘆すべきものなりとて近来教師の学生を見ること路人に異ならず学生の教師を見ることは野中の老杉古松を仰くと撰ふ所なし惟ふに完全なる教育を為し又善良なる薫陶を受けんと欲せは教師と学生とは常に接近して相互の性情を知悉せざる可からず若し夫れ諸士にして問はんとすることあらは来れ語らんと欲せは訪へ而して我等と議論を上下し我等を屈服せしむるの勇氣あるを要す教師と学生との

関係今日の如く冷淡ならんには其講義の趣味なき固より其所なり余嘗て高等商業学校に奉職中一日教室に入り不圖黒板を見れば Weather wet, lesson dry の語あり何ぞ其言の事理に適切なるや余此教育の弊風を除去せんと希望すること久し今や講師竝に学生一堂に会して學術の研究と共に相互の親睦を厚うせんとす此の如き会合の時開催せらるるは誠に余の樂みと為す所にして本会の益々盛大に趨かんことを切望す云々と述べられそれより中島先生は語学研究に志さしたる動機及び其苦心談を為して学生の参考に供せられたり斯くて福田博士は再び起て諸士を知るの第一著として各自の生国姓名等を述ふるは如何と提議せられたるに付満場之に応じて各之を述ふることとせり或は之に所感を附言する者あり桑田福田両先生の如きは幼時の状態等をも併せて語られ右了りて自由雑談に移り清興尽くるなく午後十時に及びて漸く閉会したり尚ほ当日次回は一日を期し一層の盛會を開かんことを議決し該委員を選挙したり